

ふるさとだよ

よしき

FURUSATO DAYORI YOSHIKI



2023

11

No.812



みんなで食べるとおいしいね！
えがお食堂



おとり保育園にもやってきた
アサギマダラの飛来



また来年会おうね
ホタル委員会 吉敷川への放流

CONTENTS

インフォメーション..... 2

【トピックス①】

10周年を迎えました
文化振興協議会のまちづくり..... 3

読者発なんでも広場..... 5

レポート..... 6

みんなで防災..... 7

リレーエッセイ..... 7

イベントカレンダー..... 8

かけはし..... 8

よしき人



YOSHIKI
DATA

【人口】14,621 (前月比 -3) 【世帯数】6,375 (前月比 +2)

令和5年10月1日現在

イ・ン・フ・ォ・メ・ー・バ・ン

人生100年時代の健康づくり

講座「フレイル予防編」

「フレイル」は、加齢に伴う筋力や心身の活力の低下により、健康と要介護の間の状態に陥ることです。

このフレイル状態を防ぐための知識を学びましょう。

【とき】12月1日(金)13時～14時30分

【場所】地域交流センター 視聴覚室

【対象】どなたでも(先着30名程度)

【申込・問い合わせ】地域交流センター

☎083-922-3915

放送大学 地域巡回講座

コンピュータは2進数の世界

数の数え方と2進法

一般に使われているデジタルコンピュータは、すべてのデータや情報を2進法(0と1)で表します。

小学校の算数で習った数の数え方から始め、2進数や16進数の数え方、これらの数の変換について学びます。

【とき】12月2日(土)10時30分～12時

【場所】地域交流センター 講堂

【対象】40名(先着順)

【講師】野村厚志氏(放送大学山口学習センター 客員教員、山口大学教育学部 教授)

【申込・問い合わせ】

地域交流センター

☎083-922-3915



↑申し込み

中世の城下町益田・四境戦争跡

石見の国バスツアー

今回のバスツアーは、益田氏の居館跡や雪舟庭園、四境戦争(石州口の戦い)の史跡などを訪れます。

また、途中、元山口博物館学芸員(赤田在住)の亀谷敦氏による「長門峡と青野山火山群」や日本庭園学会の多々良美春氏による雪舟庭園の講話を予定しています。

【とき】12月3日(日)8時15分

【吉敷地域交流センター集合】

【行程】地域交流センター→8時30分発(道の駅順成温泉)→萬福寺(雪舟庭園)→割烹市原家(昼食)→医光寺(雪舟庭園)→三宅御土居跡(扇原関門跡)→須佐歴史民俗資料館(別館益田館)→(道の駅阿武町)→(道の駅萩往還)→地域交流センター17時30分着

【講師】山田稔氏(山口博物館学芸員/上東・中司健一氏(益田市歴史文化研究センター主任)

【対象】吉敷在住の方30名(先着順)

【参加費】3,000円(昼食代、萬福寺拝観料等)

【申込】11月6日(月)受付開始

【主催・申込】文化振興協議会

☎083-922-3344

※駐車場は、旧出張所・公民館跡地(コミタク良城発着点)を利用してください。

防災について学びませんか

吉敷地区社協講演会

今年の梅雨は記録的な豪雨に見舞われ、身近な所でも被害が発生しました。災害に対する備えとともに、大切な人の命を守るためには日頃からの近所付き合いや声かけ、見守り活動の重要性を改めて感じることとなりました。

そこで今年は気象予報士であり防災士の坂本京子さんに天気のことや防災のこと、また地域でできることを教えていただきます。「大切な人を守るための防災」、「自助・共助・公助」について一緒に学びましょう。

【とき】12月3日(日)10時～12時

【場所】地域交流センター 講堂

【講師】坂本京子氏(気象予報士・日本防災士会山口県支部女性部長)

【演題】天気を知って、大切な人を守るための防災、日頃の近所付き合いから

【対象】吉敷在住の方

【定員】80名(要申込・先着順)

【申込受付期間】11月1日(水)～17日(金)

【主催・申込】地区社会福祉協議会

☎083-922-3344

※託児はありません

※駐車場に限りがありますので、お近くの方は徒歩や自転車でのご来場にご協力をお願いします。



オカリナ体験教室

オカリナを体験してみませんか。初歩の初歩から教えてもらえますので、お気軽にご参加ください。

【とき】12月7日(木)10時30分～11時30分

【場所】地域交流センター 講堂

【対象】20名(先着順)

【準備】オカリナをお持ちの方は持参(無い方には貸し出しあり)

【申込・問い合わせ】地域交流センター

☎083-922-3915



子育て講座「クリスマス会」

パネルシアター、ふれあい遊び、簡単な工作をして、親子で楽しく遊びましょう。

【とき】12月8日(金)10時～11時30分

【場所】地域交流センター 講堂

【対象】未就園児とその保護者30組(先着順)

【参加費】200円/組

【講師】やまぐち子育て福祉総合センター

浅野先生・田中先生

【託児】可

【申込期間】11月13日(月)～

【協力】母子保健推進員・楽楽楽

【申込・問い合わせ】地域交流センター

☎083-922-3915

市国際交流課

オンラインツアー参加者募集

南半球にあるオーストラリアのクリスマスは夏！雪のない暖かなクリスマスはどのようなにお祝いされているのでしょうか？一部現地からの配信を含めてご紹介します！

詳細はウェブサイトをご覧ください。

【とき】12月10日(日) 11時～12時(日本時間)

【参加費】無料

【参加方法】Zoomを使用

【申込期限】12月4日(月)

【問い合わせ】市交流創造部国際交流課

☎083-934-2725

【メール】kokusai@city.yamaguchi.lg.jp

令和6年

山口県二十歳のついで

【とき】令和6年1月7日(日)

13時～受付開始

14時～記念式典

【場所】山口市民会館(中央二丁目5-1)

【対象】平成15年4月2日～平成16年4月1日までの間に生まれた方

【その他】参加申し込み方法等、詳細は市ウェブサイトをご覧ください。

【問い合わせ】市社会教育課

☎083-934-2865



ウェブサイト

放課後児童クラブ(もみじ学級)申し込み受付について

もみじ学級では、保護者の就労等により留守家庭となる児童に、安全な環境で、健全な遊びや生活の指導をしています。

令和6年4月からの入級募集については、次のとおりです。

【募集定員】もみじ学級60名・もみじ第2学級56名・もみじ第3学級60名

【対象児童】小学1～6年生

【開級時間】

月～金 放課後～18時
土 8時30分～18時(8時～8時30分開所延長保育)

日・祝 閉級

※17時から集団下級となりますが、就労時間により18時までの保育を希望される方については、保護者のお迎えを条件とします。

【申込書類】もみじ学級に設置

※申込書は11月17日(金)からお渡しできます。

※受付期間は12月4日(月)～16日(土)

【申込方法】学級に直接持参(郵送不可)

もみじ学級(佐田三丁目3番3号)

【受付時間】

平日 16時40分～18時

土曜日 10時～15時

【申込締切】12月16日(土)

【問い合わせ】もみじ学級

☎083-932-3280



10周年を迎えました 文化振興協議会のまちづくり

文化振興協議会は、平成25年10月に地域づくり協議会ふれあい部会・文化部として発足しました。その後、組織改編により、平成28年度に独立した組織となり、本年度10周年を迎えました。

「吉敷さんぽ」の刊行

最初に手がけたのが「吉敷さんぽ」の刊行です。この冊子は、良城小学校の児童の夏休みの宿題として募集した「吉敷のお宝」を参考にして編集しています。

幕末・明治維新に係る情報発信

「吉敷さんぽ」により、吉敷の幕末・明治維新の調査研究と情報発信に取り組んでいます。

吉敷には、かつて吉敷毛利家の居館があり、その郷校憲章館で学んだ若者達が幕末・明治維新で大活躍しています。

凌雲寺跡の活用

中尾地区に国指定史跡の凌雲寺跡があります。同地区や市教育委員会文化財保護課と連携し、その保存と活用に取り組んでおり、年々見学者が増加しています。

肥中街道の整備と活用

肥中街道は、大内氏が海外貿易に使用した山口から豊北町の肥中港に至る約16里の街道です。沿線の上の他地域の文化団体と連携し、その保存と活用に取り組んでいます。

バスツアーや講座の開催

こうした取り組みを住民の皆さんに知っていただくため、吉敷とゆかりのある地のバスツアーや古文書講座など、専門家による各種の講座を開催しています。

文化活動の一層の推進

10周年を契機に、文化活動の一層の推進を図るため、11月12日(日)の「吉敷ふるさとまつり」において、活動の展示紹介を行うとともに、「吉敷さんぽ」の増補版の刊行に取り組むことにしています。



バスツアーの様子

なんでも
広場

わが家のペット自慢

我が家の愛犬「スノー」

約一年前、孫娘がペットシヨップで本人曰く「運命的な出会いをした」ことから我が家にトイプードル（オースリー）がやって来ました。



最近では犬を飼うことに消極的だった妻も、□では大変と言いがら、散歩・食事等の世話を一生懸命しています。私も「スノー」がいることで家の中の雰囲気良くなったように感じます。

犬をかわいがることで自分も癒される・情けは犬の為ならずといった心境です。（佐畑・S・Sさん宅）

理久（リク）

生後5ヶ月で動物愛護センターから迎えた保護犬で10才です。人も犬も大好きで、朝夕の散歩で「仲良ワン友」40匹以上できました。子供からお年寄りまで、皆に可愛がって貰っています。

特技は、カードに書いた1〜10までの数字を吠えて数えてくれます。（最近では、集中心力が長続きせず、おやつと気分次第ですが）



（上東・志賀玲子さん宅）

フナの

だいちゃん（おおきい子）
しょうちゃん（ちいさい子）

だいちゃんとしょうちゃんは、いきもの係が横を通るとごはんが欲しいアピールをします。

2尾そろって尾ひれを小さくふりながら水面に上がってくところがかっこいいです。

涙が出ている子どもたちを癒し、笑顔にしてくれる特技をもっています。

（おおとり保育園）



中川ココ

今年11歳になりました。のんびり屋さんで穏やかな子です。びよこんと曲がった右耳がチャームポイントです。



（大橋町・中川由希さん宅）

たっちゃん

（コザクラインコ 3才）

お母さん（飼い主）とおもちやで遊ぶのが大好き。くちばしで紙を細長く切り、自分の羽の間に差し込み、おしゃれにすることが特技だよ。



（木崎・白竹政彦さん宅）

龍蔵寺鼓の祭典

【とき】11月18日（土）9:45〜

吉敷鳳凰太鼓（ジュニア部・青年部）の奉納演奏もあります。

※参加料500円が必要です。

令和5年11月18日（土）
龍蔵寺秋の大祭
『鼓の祭典』

お問い合せ 083-924-057 龍蔵寺

レポート

災害時に役立つ知識を体験

9月15日(金)、母子保健推進協議会とつどいの広場「案案案」の企画により、子育て講座「防災」を開催しました。
小児を持つ母親を中心とした参加者は、山口県赤十字防災奉仕団を講師に、災害時に出来る炊き出しの体験など、いざという時に役立つ知識を学ぶことができました。



えがお食堂ついに再会!!

9月16日(土)、約4年ぶりとなる「えがお食堂よしき」を開催しました。
当日は、大人から子どもまで総勢116名が来場。ボランティアスタッフが手作りした美味しいカレーを味わいながら、会話や交流をわいわい楽しんでいます。



サロン同士で交流しました

9月22日(金)、地区社会福祉協議会は4年ぶりに「吉敷地域ふれあい・いきいきサロン交流会」を開催しました。
吉敷には11のサロンがあり、そのうち7サロンが参加。日頃からサロンの運営に携わっている参加者の皆さんは「みんなで楽しく過ごせる場づくり」のために、それぞれのサロンで工夫している点や課題、その解決策などを話し合いながらサロン同士の交流を深めました。



まん丸お団子づくり

9月23日(土)、「お月見団子づくり」を開催しました。
食生活改善推進員を講師に、両手でコロコロまん丸のお団子ができました。トロっとしたあんをかけたらみたらし団子の完成です。
目と舌で伝統文化を堪能しました。



凌雲寺跡で観月会

9月29日(金)は十五夜、中秋の名月に当たる日でした。
中尾西の凌雲寺跡では、今年も地元呼びかけにより10名ほどの参加者が集まり、観月会を行いました。
地元や市文化財保護課から凌雲寺の歴史や現在進められている発掘調査の状況等について説明を受けた後、山際から大きな月が現れると、惣門の石垣が月に照らされ、幻想的な雰囲気を感じられました。



もしものときに備えて

9月30日(土)、地区防災会では町内会長や防災連絡員を対象に、下関市消防防災学習館において視察研修を実施しました。
消火や避難などの模擬体験を通して、もしものときに備えて消防・防災の知識や対処方法を学びました。



美しい吉敷川とホタルの里

10月6日(金)、「ホタル放流の集い」を開催しました。式典では、良城小学校ホタル委員会による4ヶ月間の飼育状況の発表や児童から募集したホタル俳句の表彰を行いました。
また、孵化させたホタルの幼虫約1,000匹を吉敷川に放流しました。
毎年行っているこのホタル増殖事業は、地域と学校が連携して取り組むことで、それぞれふるさとへの愛着と命の尊さを感じるものとなっています。



良城小児童によるホタル俳句紹介

〈最優秀賞〉

吉敷川 ホタルがつくる 笑顔の輪

3年村上陽琉

〈優秀賞〉

心まで 明るく照らす 光の輪

4年加藤真奈美

夏灯せ 夜空の下の 星たちよ

4年濱本夏帆

吉敷ではみんなの心に ホタルまつ

5年頼廣花菜

飛ぶ光 みんなの笑顔 のせていく

6年中井遙希



「避難行動要支援者」と「避難マイプラン」

「避難行動要支援者」とは、災害時に自力で避難することが著しく困難な在宅の高齢者や障がい者等で、避難支援を特に必要とする方々です。

令和3年5月に災害対策基本法が改正され、避難行動要支援者の個別避難計画である「避難マイプラン」の作成が、市町村に努力義務化されました。これを受け、令和4年度からは市内全域で、地域の防災活動の拠点である地域交流センター・総合支所を中心に、地域の関係団体とともに、避難マイプランの作成等に取り組むこととしています。

●避難マイプランとは
自宅の災害リスク、避難場所、避難時に配慮する事項、避難支援に関する事項、かかりつけの病院、避難時に携行する医薬品・用具等、避難方法、緊急時家族等連絡先、等を記載した個別避難計画書です。



●避難行動要支援の対象者とは

- ① 65歳以上の一人暮らしの高齢者で避難行動が困難な方
- ② 75歳以上のみの世帯の高齢者で避難行動が困難な方
- ③ 要介護3以上の方
- ④ 身体障害者手帳1・2級の1種で避難行動が困難な方
- ⑤ 療育手帳Aをお持ちの方
- ⑥ 精神障害者保健福祉手帳1級をお持ちの方
- ⑦ 難病及び小児慢性特定疾患患者で人工呼吸器等を使用しかつ避難行動が困難な方
- ⑧ その他、本人（親族を含む）や避難支援等関係者から申し出のあった方

●令和5年4月20日現在、吉敷地域では避難行動要支援の対象者は131名です。

避難支援が必要な方の情報を地域で共有することは、災害時の助け合いにつながる強い絆になります。災害時に一人の犠牲者も出さないため、助け合い機能の向上に取り組んで行きたいと思っています。
※山口市防災危機管理課の資料より引用

吉敷地区防災会

（地域づくり協議会内）

083-9222-3344

リレーエッセイ

Relay Essay

042



つゆぐち まもる
露口 守さん (中村)

私が生まれたのは、愛媛県の温泉郡（現在の東温市）です。高校卒業後は山口県の大学で4年間過ごし、全国転勤のある企業に就職しました。下関市や山口市での勤務が長くなり、気づけば故郷で過ごした期間より山口で過ごすことの方が長くなっていました。自然にあふれ、地元似た懐かしさと共に心を豊かにしてくれる山口を第二のふるさとだと思っています。

山口は何より人が素敵です。山口商工会議所青年部や良城商工振興会に加入し様々な地域のイベントに参加したりお手伝いをさせて頂く中で、皆さん協力的でとても楽しく活動させていただきました。

この大好きな山口に永住するつもりで維新公園に家を建て、脱サラして一人で“まもる整体サロン”という整体院を開業しました。

今年で開業して5年になります。これまで本当に沢山の方に支えて頂き感謝の気持ちでいっぱいです。これからは沢山の方のお役に立てる様に、来年には嘉川に二店舗目を出店する予定です。

大好きな山口への愛情は私の心の一部となり、私を育ててくれた場所に対する感謝の念で溢れています。これからも微力ながらこの町の為に尽力し続けたいと思っています。



1 水	●染め絵体験教室 10:00～12:00 ●広報委員会 17:00～	
2 木	●町内会長会 18:30～	
3 祝		
4 土	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00	
5 日	●レノファ山口 VS FC町田ゼルビア 13:05～(みらスタ)	
6 月	●あいさつの日	
7 火		
8 水	●育児相談 13:30～14:30(受付時間)	
9 木		
10 金		
11 土		
12 日	●吉敷ふるさとまつり 9:00～15:00	
13 月	●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～	
14 火		
15 水		
16 木	●ふれあい型給食会	
17 金		
18 土	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00 ●えがお食堂よしき 11:30～	

19 日	●親睦ゴルフ大会 9:00～	
20 月		
21 火		
22 水		
23 祝		
24 金		
25 土		
26 日		
27 月	●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～ ●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 10:00～15:00	
28 火		
29 水		
30 木		

12月のおもなイベント

1 金	人生100年時代の健康づくり講座 P.2
2 土	放送大学 巡回講座 P.2
3 日	石見の国バスツアー P.2 地区社協講演会 P.2
4 月	あいさつの日
7 木	オカリナ体験教室 P.2
8 金	子育て講座「クリスマス会」 P.2

「通勤時に思うこと」

通勤途中、通学路の横断歩道で車の止まるのを待つ子どもたちを目にする。私は、そんな子どもたちが目に入ると車を止めるようにしている。

横断歩道を渡り切った子どもたちが、頭を下げお辞儀をする。その姿を見た時、吉敷の子どもたちは育っていると思う。

中学生にもそんな姿が見られる。きっと小学生の頃に身についた習慣なのだろう。

ちよつとしたことだが、嬉しい気持ちになる。きっと、小学校や中学校でも指導されているのだろうと考えてしまふ。もちろん家庭での指導もあるだろう。

信号機のない横断歩道で、車が止まってくれるのを待つ人をよく目にする。しかし、平気で車を加速し、横断歩道を通り過ぎる車もある。

子どもたちは、ちゃんと見ているのである。よい大人の背中を見せてあげたいものだ。吉敷地域の子どもたちを私たち大人がしっかり見守り、育てていかなければと思う。

広報委員 河村 靖彦

【発行・編集】

吉敷地区広報委員会(〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)

☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)

☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)

☎083-922-3344 地域づくり協議会・吉敷自治会・地区社協

吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイト

フェイスブック・インスタグラム

<https://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

